



# 学校訪問

部活動

学校自慢

## 諏訪台中学校

西日暮里2-36-8

生徒が部活動を紹介します  
女子バドミントン部



努力の結晶です

夏は「もう1度都大会ベスト4へ挑戦」を目標に掲げ、練習の時から試合のように、気合いを入れて練習に取り組

ます。あいさつを返してもらえるととても嬉しいです。3つ目はウサギのココアを飼っていることです。飼育・運動委員が世話をしています。校庭の片隅にあるココアの小屋は、二日小みんなの癒やしのスポットです。

「相手のコートで勝負する」ということを常に意識し、悔いの残らない最高の試合ができるように頑張ります。そして、いつも忙しい中、練習に付き合ってくれる先生やコーチの方、休みの日に毎日、お弁当を作ってくれたり大会や練習試合に応援をしに来てくれる保護者の方に感謝し、ベストを尽くした結果で、恩返ししたいと思います。

執筆 3年 石井美南

## 第二日暮里小学校

東日暮里5-2-1

学校の自慢を児童が紹介します



タブレットPCで学習

マーチングの演奏



2つ目はあいさつ隊による朝のあいさつです。1、6年生の縦割りのなかよし班で、担当の週に校門の前であいさつをします。登校してくる二日小の子もただでなく、地域の方にもあいさつをしてい

ます。あいさつを返してもらえるととても嬉しいです。3つ目はウサギのココアを飼っていることです。飼育・運動委員が世話をしています。校庭の片隅にあるココアの小屋は、二日小みんなの癒やしのスポットです。

「相手のコートで勝負する」ということを常に意識し、悔いの残らない最高の試合ができるように頑張ります。そして、いつも忙しい中、練習に付き合ってくれる先生やコーチの方、休みの日に毎日、お弁当を作ってくれたり大会や練習試合に応援をしに来てくれる保護者の方に感謝し、ベストを尽くした結果で、恩返ししたいと思います。

執筆 5年 鈴木知音

**第8回 あらかわバラの市を開催**

5月14日、「第8回あらかわバラの市」が開催。晴天の中、約6000鉢のバラが販売され、多くの人々が色とりどりのバラを楽しんでいました。

◀式典であいさつをする 西川区長

**FC東京のコーチからサッカーを教してもらいました**

5月19日、第二瑞光小学校にサッカーJリーグ、FC東京のコーチが来校。5・6年生がサッカー指導を受けました。ボールを使った準備運動や的を狙ってボールを蹴る練習、ミニゲームなど盛りだくさんの内容で、みんな楽しんで体を動かしました。

◀少しの時間でも上達できました

**南千住図書館・荒川ふるさと文化館**

**七夕まつり**

☆七夕の歴史を知ろう&七夕飾り作りを体験しよう

期間 6月29日(水)~7月8日(金)

☆七夕まつり(七夕のお話やパネルシアターなど)

日時 7月6日(水) 午後3時30分~4時30分

会場・問合せ

南千住図書館 ☎(3807) 9221

荒川ふるさと文化館 ☎(3807) 9234

**日暮里の下御隠殿橋**

荒川区で川と言えば「隅田川」を思い出すよね。でもね、区内にはもっといろいろな川があつたんだ。小さな川だけ「地藏堀」「八幡堀」「音無川」等が流れていた。明治時代くらいまでは、ほとんどが農業用水として使われていたんだよ。そして、小さな橋がいくつも架かっていたんだって。橋には、川を渡る以外にも、

**下があるなら上もある?**

この橋の正式名は「下御隠殿坂跨線道路橋」。「上」の字は付いてないけど、上野駅寄りに「御隠殿坂橋」があるから「下御隠殿坂跨線道路橋」と名付けられたんだらうね。でも通称は「下御隠殿橋」。何とも古めかしい名前だね。どうして、こんな名前が付いたんだらう。

**下御隠殿橋のルーツ!?**

このお屋敷の前を流れる「音無川」に架かっていたのが「御隠殿橋」。長さ約2.7m、幅約3.9mの石橋だっ

**あらかわ今昔ものがたり**

**あらかわの歴史と伝説**

**その101 下御隠殿橋のルーツ!?**

~御隠殿橋と御隠殿~

道路に架けられた歩道橋や鉄道の線路に架けられた跨線橋があるよね。日暮里駅の北側の橋「下御隠殿橋」もそうだね。鉄道ファンなら誰でも知っている有名な橋だ。この下をJ.R山手線、東北本線、常磐線、東北・上越・北陸新幹線、京成本線等、線路が14本、1日に約2500本の列車が通り、真ん中のステージは「トレインミュージアム」と呼ばれているんだよ。

東日暮里五丁目「音無川」の名残の道を歩くと、正岡子規・夏目漱石もお気に入りだった「羽二重団子」がある。ここから少し南の台東区境に、「御隠殿」という大きなお屋敷があつたんだ。「根岸の里」と呼ばれ、この辺りは別荘地として知られていたんだよ。「御隠殿」というのは、上野(台東区)にある徳川将軍家ゆかりの寛永寺の住職、輪王寺宮が引退後に使ったお屋敷、つまり別荘だったんだ。輪王寺宮は天皇の皇子で京都からいらしたから「御隠殿」は京都の雰囲気漂うお屋敷だったそうだよ。

たそうだよ。「下御隠殿橋」の名前のルーツは、この石橋にあるようだね。お屋敷には、残念ながら、幕末の上野戦争で焼けてしまった。明治時代、周辺が街になり「音無川」が汚くなったので、昭和8年(1933)頃、道路に姿を変えたんだ。この時に「御隠殿橋」も、外されたんだってさ。東日暮里五丁目40番6号に史跡説明板があるよ。今度「下御隠殿橋」のルーツを探検してみてね。



▲御隠殿の秋月「根岸八景」(『新修荒川区史』上)